



今こそローカリゼーション

～ヘレナと智恵子が語る～

「ローカリゼーションとは孤立ではありません。ローカル化をめざす世界中の地域がつながって連帯する。それこそが「大企業のためのグローバル化」に歯止めをかけ、それを乗り越える、本来の意味のグローバル化です」一辻 信一

「幸せの経済」と「ローカリゼーション」の流れは、今、ゆっくりと静かに広がっています。
11月11日(土)12日(日)の二日間にわたって開催される「しあわせの経済 世界フォーラム 2017」では世界と日本の流れを紹介しあい、学び合い、次の実践への種を貰う場になるでしょう。<http://economics-of-happiness-japan.org/>
そのメインゲストの一人であるヘレナ・ノーバーク＝ホッジさんと、オーガニックコットンの母・渡邊智恵子の対話が実現します！
モデレーターにジョー横溝さんをおむかえしました。二人の対話から、たくさんの種を引き出してくれるでしょう。

この春、ブータンに行ってきました。

ブータンでは花嫁は、ワタを植え、糸を紡ぎ、生地を織って、花婿の「ご」という着物を作って差し上げるそうなんです、花嫁が織りあげたその「ご」を、自慢の一品として大事に一生着ていくとのこと、なんだかほんわかとした気持ちになりました。これが「幸せの経済学」の原点ではないでしょうか？

日本にも、数十年前まではそのような習慣がありました。まずは家族のものを作り、家族の幸せのために手間暇を惜しまない。でも戦後、その構図が一変しました。ブータンも然り。農業をやめ、賃金労働者として街に出ることで、家族や地域との時間が犠牲になる、世界中がその波(グローバルゼーション)に飲み込まれつつあります。

自分たちで作り、自分たちで使い、自分たちで商売をする。
そのようなシンプルな生き方、これを目指し、真の豊かさをつなげていきたいです。

一般財団法人 22世紀に残すもの
発起人代表 渡邊智恵子

自分にとっての“懐かしい未来”のヒントが見つかるはず。フォーラムにご参加の方も残念ながら参加できない方も、11月14日はぜひ日比谷図書文化館大ホールへ！

お申込みはこちら
↳

2017年11月14日(火) 18時半開場 19時開始(～21時)

場所：日比谷コンベンションホール(大ホール)(日比谷図書文化館B1)

千代田区日比谷公園1番4号(旧・都立日比谷図書館) <http://hibiyal.jp/hibiya/access.html>

参加費：前売り：3000円 当日：3500円 学生：1000円(全席自由席)

<http://economics22.peatix.com>(事前決済ではじめて申し込み完了となります)

お問い合わせ:hello@22c.life

主催：一般財団法人 22世紀に残すもの

共催：ナマケモノ倶楽部

登壇者紹介

**「私たちが今必要としているのは人間と自然界の真のニーズに応えるための
ローカリゼーションへの方向転換です」**

ヘレナ・ノーバーグ=ホッジ (Helena Noberg=Hodge)

スウェーデン出身。1975年、インド・ラダック地方への外国人の入境が許可された後の最初の訪問者の一人。言語研究者として長期滞在、ラダック語の英語訳辞典を制作。以来、ラダック文化とそこに暮らす人々に魅了され、毎年ラダックで暮らすようになる。急速に進む開発とそれに伴う文化と自然環境の破壊を憂い、現地の人々と共に、ラダックの持続可能な発展を目指すプロジェクト LEDeG (The Ladakh Ecological Development Group) を創設。この活動が評価され、もう一つのノーベル賞として知られる、ライト・ライブリフド賞を1986年に受賞。40カ国以上で訳された著書『ラダック 懐かしい未来』は世界中で大きな影響を与えた。またグローバリゼーションを痛烈に批判し、ローカリゼーションへの筋道を示した映画『幸せの経済学』を制作、以後、「ローカル・フューチャーズ」を設立し、「しあわせの経済」会議を世界各地で開催、国際ローカリゼーション運動の最先頭に立つ。



写真=疋田千里

「22世紀に、私達が何を残していくのかを一緒に考えましょう」

渡邊 智恵子

1952年北海道生まれ。1975年明治大学商学部卒。同年タスコジャパン入社。1983年同社取締役副社長に就任。1985年アバンティ設立。1990年に日本に初めてオーガニックコットンをアメリカから輸入。1997年オーガニックコットンブランド「Pristine」スタート。2000年NPO法人日本オーガニックコットン協会 (JOCA) を設立。2008年「毎日ファッション大賞」受賞。2009年経済産業省「日本を代表するソーシャルビジネス55選」に選出。『ウーマン・オブ・ザ・イヤー2010』リーダー部門を受賞。2010年NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」出演。2011年一般社団法人小諸エコビレッジ設立。2014年一般社団法人わくわくのびのびこども塾設立。2016年ラジオ番組「22世紀に残すもの」パーソナリティとして始動。2016年一般財団法人「森から海へ」設立。



ジョー横溝 ライター / ラジオDJ / インタビュアー / MC

1968年生まれ。早稲田大学卒。雑誌「Rolling Stone 日本版」のシニアライターとして、国内アーティストのインタビュー記事をほぼ全部を担当。他誌やWEBでもインタビュー記事を多数担当しインタビュー数は年間で150ほど。またFMを中心にラジオDJ・ナビゲーターとして数々の番組を担当。現在のレギュラーは、InterFM 897『THE DAVE FROMM SHOW』(毎週月～金)『LOVE ON MUSIC』(毎週土曜)ニコ動『ジョー横溝チャンネル』(毎週木曜)イベントMCとしても『FUJI ROCK FESTIVAL』、『中津川 THE SOLAR BUDOKAN』他、数々のイベントMCを担当。著書に『FREE TOKYO』『ボブ・ディラン語録』他がある



【一般財団法人22世紀に残すもの】…目を閉じて、22世紀がどんな世界になっているか、想像してみませんか？そこに浮かぶのは、平和な世界でしょうか？心豊かな暮らしでしょうか？22世紀を作るのは、今を生きる私達。22世紀を生きるのは、未来の子どもたち。持続可能で美しい未来を次の世代に手渡すために、「一般財団法人22世紀に残すもの」は生まれました。「22世紀に残したいものはなんだろう？」と皆で考え、具体的な活動に繋げていくための、学びと交流の場として、様々なセミナーやイベントを企画・運営しています。
<http://22c.life/>

ボランティア募集中

未来につながる活動をしてみたい！社会を変えてみたい！という意欲のある、ボランティアスタッフを募集しています。お気軽に事務局までお問い合わせくださいませ。
hello@22c.life (担当 西林)